

大津町復旧・復興計画進捗状況一覧【平成30年12月末現在】

平成31年3月1日開催全員協議会資料

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	平成30年4月～12月の実績	累計歳出額(千円)	進捗率(進捗状況)	進捗が遅れている理由(外的要因、内的要因)または担当課のコメント(課題等)	担当課
① 住民生活・くらしの再建	1 住宅の確保	1	応急仮設住宅の建設【事業完了】	進捗状況 100% 6ヶ所の仮設住宅を建設した。		0	100% (事業完了)	(担当課コメント) ・応急仮設住宅の使用期限が2年間であるため、今後、期限の延長や災害公営住宅の建設や町営住宅への移転も含め検討していく必要がある。	都市計画課
		2	公費解体撤去等の支援【事業完了】	復旧期間2年間で申請があった1,541棟(公費解体1,146棟、自主解体395棟)の解体を完了。 進捗状況:100%		5,411,031	100% (事業完了)	(担当課コメント) ・新築物件に移住後に解体を考えていた世帯について、工期の遅れから解体時期を遅らせて欲しい相談があっていたが、3月末までにはすべて解体を完了することが出来た。 ・損壊状況から解体やむなしと判断した家屋等については追加で申請を受けて、早急に片づけを行い、解体に移ったため、3月に完了することが出来た。	環境保全課
		3	住宅の応急修理	進捗状況(完了率) 86.4% H28:申請752件、発注604件、完了482件 H29:申請72件、発注157件、完了217件	H30:発注28件、完了53件、未発注15件、未完了42件	425,218	94.7% (遅れている)	【外的要因】 ・業者不足や人手不足により完了に至っていない被災者が多くいる。 (担当課コメント) ・申請者や施工業者に連絡を取り早期の完了を目指す。希望する方には、町内建設業組合により業者を紹介してもらっている。	都市計画課
		4	被災者生活再建支援・相談	申請対象者数 663件(半壊解体以上)のうち ・基礎支援金 661件(未申請1件・申請不能1件) (解体後による差額追加支給申請102件) ・加算支援金 357件(未申請305件) ・未申請者にも随時申請の勧奨を行い、再建のための経済的負担軽減につながった。	H30.4～12月の申請件数 ・基礎支援金 3件、・加算支援金 68件 ・未申請者にも随時申請の勧奨を行い、再建のための経済的負担軽減につながった。 (総計) 申請対象者数 667件(半壊解体以上)のうち ・基礎支援金 664件(未申請2件・申請不能1件) ・加算支援金 425件(未申請241件) ※加算支援金申請率 63.8%	0	63.8% (遅れている)	【外的要因】 ・業者の順番待ちで契約までに至っていない世帯がある。 (担当課コメント) ・H31.5.13が申請期限となっているため、契約締結した世帯へは個別に申請を促している。 ・再建時期が未定の世帯には、再建スケジュールを示し、申請期限を越えないよう助言を行っている。	福祉課
		5	一部損壊世帯への支援	【支援内容】 修理費10万円以上～100万円未満・・・見舞金支給 修理費100万円以上～・・・義援金支給 一部損壊世帯数 3,830件のうち 見舞金支給件数 462件(12.0%) 見舞金支給総額 24,135,000円 ※H30.3.31までの実支払い額 《参考》県義援金対象(修理費100万円以上)637件	H30.4～12月の見舞金支給件数 49件 見舞金支給総額 2,667,000円 ・おおつ広報(4月号、10月号)でも制度内容周知済 (総計) 一部損壊世帯数3,862件のうち 見舞金支給件数 511件(13.2%) 見舞金支給総額 26,802,000円 ※H30.12.31までの実支払い額 《参考》県義援金対象(修理費100万円以上)684件 ※一部損壊世帯への支援率 30.9%	26,802	30.9% (遅れている)	【外的要因】 ・業者の順番待ちで修理が完了していない世帯がある。 【内的要因】 ・修理費が10万円以内もしくは自身で修理している世帯が多いと思われる。(被災程度が一部損壊内でも小さい) (担当課コメント) ・修理が間に合わない世帯に対応するため、申請期限を1年延長し、2020年3月までとした。 ・公的支援がないとされていた一部損壊世帯へ修理費用に応じて見舞金を支給することにより、被災者の経済的負担軽減ができています。	福祉課
		6	災害公営住宅の建設	立石・引水・吹田・後迫団地:測量、地質、設計委託発注	・測量、地質調査、設計業務は、完了した。 ・立石、引水、吹田団地工事発注済。 ・後迫団地公告中。	1,159,636	40% (遅れている)	【外的要因】 3団地工事発注を行っているが、建設中の協議の中で各種人員の不足、材料の不足が報告されており、吹田団地については、1ヶ月半、引水団地については2ヶ月遅れる予定となっている。	都市計画課
		7	耐震診断事業、耐震改修事業	申請:耐震設計 10件、耐震改修 4件 年度内完了:耐震設計 9件、耐震改修 2件	・申請:耐震設計 3件、耐震改修 2件 ・完了:耐震設計 4件(内繰越1件)、耐震改修 3件(内繰越2件)	4,689	87.5% (遅れている)	【外的要因】 ・改修工事費が高額になる、リフォームの業者がなかなか見つからないと相談が寄せられている。	都市計画課

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	復旧期間2年間(H28~H29)の進捗状況と実績	平成30年4月~12月の実績	累計歳出額(千円)	進捗率(進捗状況)	進捗が遅れている理由(外的要因、内的要因)または担当課のコメント(課題等)	担当課
		8	地域防災がけ崩れ対策事業	測量設計を完了し工事着手、事故繰越して工事中。	東道免地区、外牧地区全て完了	71,543	100% (事業完了)	(担当課コメント) 労務、資機材の不足により遅れていたが完了した。	建設課
		9	宅地耐震化推進事業(拡充事業含む)	進捗状況 40% ○相談窓口の開設 ○調査・測量・設計委託業務の実施 ○住民及び建設業組合への説明会の開催	・大規模盛土造成地滑動崩落防止工事の執行・監理	435,878	60% (遅れている)	【外的要因】 ・(大規模事業)周辺地権者との用地等の交渉難航 ・(拡充事業)請負業者の人手不足や製品不足による遅れ (担当課コメント) ・大規模事業については、工事契約した町内の共同企業体と連絡を密にし、関係する住民の協力を得ながら迅速に進めたい。 拡充事業については、個人が行う復旧事業に対して補助金を交付するものであり、申請者が工事を完了できるよう、進捗管理を行う必要がある。	都市計画課
		10	被災宅地の復旧支援	進捗状況 55% 累積実績 106件 ○相談窓口の開設 ○現地調査の実施 ○宅地復旧補助金交付要綱に基づく補助金交付	累計交付実績 135件 ・引き続き、宅地復旧補助金交付要綱に基づく補助金の交付	186,777	71% (予定どおり)	(担当課コメント) ・申請者への確認とスケジュール管理を引き続き行い、事業を執行して行きたい。	都市計画課
		11	防災意識の啓発	毎年総合防災訓練の実施や広報にて防災意識の向上を図った	3月末に整備したハザードマップの住民ワークショップにて説明。	0	80% (予定どおり)	(担当課コメント) ・町民一人一人の意識を高める必要がある。	総務課
		12	大津町浄化センター災害復旧工事【事業完了】	H28復旧工事完了		10,595	100% (事業完了)	—	下水道課
	2 地域コミュニティの維持・再生	13-1	地域コミュニティの復旧	・復旧完了施設 23施設 ・備品購入 4施設	・復旧完了施設 4施設(合計27施設) ・備品購入 0施設(合計4施設)	70,985	70% (予定どおり)	特になし	生涯学習課
13-2		地域コミュニティの復旧	・コミュニティ施設認定 30箇所 ・復旧完了施設 16施設	・復旧完了施設 15施設(合計31施設)	49,397	70% (予定どおり)	特になし	生涯学習課	
14		仮設住宅でのコミュニティづくり	仮設・みなし仮設入居者の見守りや再建状況を確認するため、関係支援団体とケース会議等を実施し全ての入居者の状況把握しながら、個々の課題に応じた対応を行ってきた。また、孤独死発生防止のため、見守り体制の強化と防止に努めている。 【仮設・みなし入居世帯数(H30.3.31現在)】 166世帯 【支援回数(合計)】 訪問 5,330件・電話 1,860件・文書 365件 相談 250件・健康サークル 170件 ※支え合いセンターによる入居者への接触率→全世帯と接触済(100%)	集会所がある仮設団地やみなし仮設入居者のためのサロン等を定期的実施し、入居者同士の交流や閉じこもり防止を行っている。 【仮設・みなし・公営住宅入居世帯数(H30.12.31現在)】 166世帯 【支援回数(合計)】 訪問 5,330件・電話 1,860件・文書 365件 相談 250件・健康サークル 170件 ※支え合いセンターによる入居者への接触率→全世帯と接触済(100%)	93,176	100% (予定どおり)	(担当課コメント) ・再建方法がまだ決まっていない世帯への延長に対する支援を継続中 ・アルコール依存を含め、体調が悪化している世帯が増加傾向 ・孤独死防止のため、見守り体制の強化と、再発防止に努めている。 ・再建に向けた金銭面への不安を抱える世帯が増加している。 ・全ての仮設入居者の再建の進捗を確認することで、重点的な支援が必要な世帯の抽出と世帯に応じた個別の対応を行っている。	福祉課	
	15	災害時要援護者の支援体制づくり	災害時避難行動要援護者名簿の更新を行い、関係支援機関(行政区嘱託員・民生委員・警察・消防等)にも要援護者リストを配布し、支援体制構築のための取組みを実施した。	災害時避難行動要援護者名簿の随時更新の実施。 災害時避難行動要援護者名簿について、広報(7月号)に登載し住民周知を図った。 中島区をモデル地区とし、地域版の避難計画の中で、要支援者の避難支援についての検討を開始した。 ※H30年度「地域版避難計画策定のための座談会」実施地区予定箇所(2箇所):1箇所実施済(進捗50%)	0	50% (遅れている)	【外的要因】 ・地区の選定が決定していない (担当課コメント) ・災害時における避難体制の検討(リスト活用方法)が必要 ・個別支援計画書を充実させるための手法検討 ・要援護者リストの各地域での活用方法や、周知・フォローが必要である。	福祉課	

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	平成30年4月～12月の実績	累計歳出額 (千円)	進捗率 (進捗状況)	進捗が遅れている理由(外的要因、内的要因) または担当課のコメント(課題等)	担当課
		16	地域活動に関する支援	延べ102件の申請があり、地域の防災力向上に寄与した	28件の申請受付、交付。	12,400	80% (予定どおり)	(担当課コメント) ・未実施地区への推進が課題。	総務課
		17	税の減免措置【事業完了】	広報等により、町税減免の周知を行い、2ヶ年で個人町民税51,461千円(1,730人)、固定資産税148,383千円(1,425件)の減免措置を行った。	* 申請(遡及)なし	201,794	100% (ほぼ完了)	(担当課コメント) 遡及申請があった場合は対応予定。	税務課
		18	国民健康保険税の減免措置【事業完了】	広報等により、国民健康保険税減免の周知を行い、2ヶ年で94,390千円(1,367世帯)の減免措置を行った。	* 申請(遡及)なし	95,623	100% (ほぼ完了)	(担当課コメント) 遡及申請があった場合は対応予定。	税務課
		19	後期高齢者医療保険料の減免措置【事業完了】	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、保険料の減免を実施。 減免期間:平成28年4月分～平成29年9月分 減免額:34,337,300円	減免期間終了のため実績なし。	34,338	100% (ほぼ完了)	(担当課コメント) 遡及申請があった場合は対応予定。	健康保険課
		20	一部負担金の免除(国保・後期)【事業完了】	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、医療機関で支払う一部負担金の減免を実施。 減免期間:平成28年4月分～平成29年9月分 減免額:国民健康保険 194,411,063円 後期高齢者医療保険 120,934,409円	減免期間中(平成28年4月～H29年9月)の一部負担金減免(還付)。 【国民健康保険】 97,730円 (1人)5月 【後期高齢者医療保険】 87,190円 (1人)4月	315,531	100% (ほぼ完了)	(担当課コメント) 遡及申請があった場合は対応予定。	健康保険課
		21	介護保険料の減免措置【事業完了】	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、保険料の減免を実施。 減免期間:平成28年4月分～平成29年9月分 減免額:84,580,740円	申請なし	0	100% (ほぼ完了)	(担当課コメント) 遡及申請があった場合は対応予定。	介護保険課
		22	介護保険サービス利用料の免除【事業完了】	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、介護サービス利用料の免除を実施。 減免期間:平成28年4月分～平成29年9月分 減免額:69,749,330円	申請なし	69,750	100% (ほぼ完了)	(担当課コメント) 遡及申請があった場合は対応予定。	介護保険課
		23	保育料等の減免措置【事業完了】	平成29年3月納期限分または平成29年8月納期限分まで認可保育の保育料と公立幼稚園保育料を減免(保育園46人分、幼稚園9人分、家庭的保育1人分)減免額計 5,299,800円 学童保育入所者と認可外保育施設利用者に利用料補助を実施(学童保育23人分、認可外保育3人分)補助額計 1,497,500円		11,104	100% (ほぼ完了)	(担当課コメント) 遡及申請があった場合は対応予定。	子育て支援課
		53	共同墓地復旧支援事業【H29新規】	平成29年度より各区、各共同墓地組合から共同墓地の復旧支援として、事業費の1/2の補助金を実施した。平成29年度実績は11地区で7,261千円	平成30年度は5地区の申請があり、2地区は竣工している。(下陣内、上中) 補助金額:2,932千円	2,932	40% (予定どおり)	(担当課コメント) ・他3地区(内牧、後迫、高尾野)から納骨堂等の補修の申請があがっており、2月中には完了予定。	環境保全課
②	1	24	道路の災害復旧工事	(補助)41箇所中40箇所の復旧工事完了(岩戸橋工事中)(単独)28箇所の復旧工事を発注、3箇所を繰越して工事中。	(補助)41箇所 全て完了 (単独)繰越工事は完了。今年度工事で9路線で工事完了、5路線で工事中。	678,212	95% (遅れている)	【外的要因】 ・今年度発注工事は、労務、資機材の不足により遅れている路線がある。(単独分)	建設課
		25	都市公園の災害復旧工事【事業完了】	進捗状況 100% 大津町運動公園(体育館・球技場・競技場・その他外構)を除く都市公園の災害復旧について全て完了した。		19,704	100% (事業完了)	—	都市計画課

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	平成30年4月～12月の実績	累計歳出額 (千円)	進捗率 (進捗状況)	進捗が遅れている理由(外的要因、内的要因) または担当課のコメント(課題等)	担当課
経済の再生	1	25-2	都市公園の災害復旧工事【事業完了】	進捗状況 100% ・総合体育館は工期を3月まで延長したが、全施設竣工完了し、供用開始済。		441,288	100% (事業完了)	—	生涯学習課
		26	国道57号の崩落に伴い迂回路となっている町道の補修工事	地元からの要望等により、町道三吉原北出口線、新小屋桜山線の一部については、国・県により舗装の補修や側溝蓋の設置などが行われた。	町道区間において舗装の補修など現地調査し、県・国に要望を行なった。	0	80% (予定どおり)	(担当課コメント) 町道区間にて住民から舗装の補修が寄せられるが、予算の問題もありすべてに対応するのは難しい。引き続き要望を行っていく。	建設課
		27	豊肥線不通区間の公共交通の確保	鉄道路線復旧についてJR九州をはじめ関係機関への要望や情報収集を行ってきた。震災後、JR九州と県により通学者利用が主の代替バスが運行されている状況だが、29年にはJR九州が先行して肥後大津駅～立野駅間の復旧工事に着手した。	JR九州による復旧工事が進行中。JR九州に肥後大津駅～立野駅間の運行再開時期について確認するも、明確な回答は得られず。現在は内牧環状線の見直しによる乗合タクシーの導入を調整中であり、乗合タクシーが導入されれば、瀬田駅周辺の代替交通として利用できる。12月の公共交通会議で方向性の同意を得たため4月1日の運行開始に向け調整中。	0	70% (遅れている)	【外的要因】 JRによると立野駅までの運行再開時期については、県による斜面崩壊箇所の対策工事が完了しなければ明示できないとのこと。 【内的要因】 内牧環状線見直しによる代替交通導入については交通関係者との調整に時間を要していたが、4月1日には間に合う見込み。 (担当課コメント) ・引き続きJR九州からの情報収集に努める。 ・代替交通についてはH31.4月からの実施予定。	総合政策課
		28	都市計画マスタープランの作成	進捗状況 50% ○住民アンケートの実施 ○策定検討委員会(第1～3回)の開催 ○都市計画審議会(第1回)の開催	・策定検討委員会(第4～7回)の開催 ・都市計画審議会(第2～4回)の開催 ・住民ワークショップの開催(4回) ・パブリックコメントの実施	10,600	90% (予定どおり)	(担当課コメント) 引き続き新規開発の可否を検討し、開発の可能性を検討する。庁内での情報共有を十分にを行い、上位機関等と協議する。	都市計画課
		54	地域水道施設復旧事業【H29新規】【事業完了】	平成29年度より、地域水道復旧費1/2の補助金の支援を行っている。平成29年度は真木簡易水道分の40千円を支援した。	平成30年度は熊本地震に起因する濁水を防ぐため、補修工事を行った。 事業主体:真木簡易水道 補助金額:277千円(事業費:554千円)	277	100% (予定どおり)	—	環境保全課
	2 保健・医療・福祉・教育の復旧・充実	29	教育施設の復旧【事業完了】	H28年度中に被災した小中学校の校舎、付帯設備(体育館等)の補修・改修工事完了。H29年度中には小学校1校の屋内運動場復旧工事及び、記念碑改修工事も完了し、全ての復旧が完了する(100%完了)。		319,125	100% (事業完了)	—	学校教育課
		30	社会体育施設の復旧【事業完了】	平成28年度中に復旧が完了し、供用を開始している。		2,904	100% (事業完了)	—	生涯学習課
		31	被災者の心のケア	支え合い事業関係団体と個別ケース会議を行い、アルコール依存等により心身面でケアが必要な支援対象者を早期に把握し、病院や関係機関につなぎ対応することができた。	これまでのケース会議の結果や、H30年3月にこころのケアセンター実施の「こころとからだの健康に関する調査」の結果から、相談希望者やリスク判定等をもとに、支援対象者への対応を検討した。 ※支え合いセンターによる入居者への接触率→全世帯と接触済(100%)《再掲》	93,176	100% (予定どおり)	(担当課コメント) ・アルコール依存を含め、体調が悪化している世帯が増加傾向 ・孤独死防止のため、見守り体制の強化と、再発防止に努めている。 ・仮設退去後のフォロー体制の明確化 ・支え合い事業関係団体との連携を行うことで、早期に心身面の変化について把握することができている。	福祉課
		32	災害時の保健・医療の連携体制の構築	熊本地震での課題を踏まえ、今後の災害に備え関係機関と連携した保健・医療の体制整備のための検討を実施した。	熊本地震での課題を踏まえ、今後の災害に備えた連携体制について、関係課と協議を実施した。 ※連携体制構築のための庁内会議開催(2回予定/年):1回実施済(50%)	0	50% (遅れている)	【内的要因】 ・庁内間での連携体制の検討途中 (担当課コメント) ・熊本地震での課題検証に伴う精査と、ニーズ量による今後の方向性を検討中	福祉課

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	復旧期間2年間(H28~H29)の進捗状況と実績	平成30年4月~12月の実績	累計歳出額(千円)	進捗率(進捗状況)	進捗が遅れている理由(外的要因、内的要因)または担当課のコメント(課題等)	担当課
		33	生涯学習施設等の復旧【事業完了】	瀬田地区公民館分館解体完了。 錦野地区公民館分館(建物・擁壁)復旧完了。 進捗状況:100%		13,119	100% (事業完了)	—	生涯学習課
		34	指定文化財の復旧	・解体工事80%完了 ・平成34年度復旧に向けて協議	・解体工事100%完了。主屋基礎工事着手。 ・平成34年度復旧に向けて協議	8,621	30% (予定どおり)	特になし	生涯学習課
		34-2	指定文化財の復旧	・無田原遺跡標柱復旧 ・森駅記念碑復旧(森区事業) ・文化財ドクター指定住宅の復旧 協議:4件 申請:3件 ・猿渡六地藏:地元協議	・猿渡六地藏復旧の復旧工事開始	49	30% (予定どおり)	特になし	生涯学習課
	3	35	農地、農業用施設等の災害復旧工事【事業完了】	国庫補助工事 40件(62箇所)完了 町単独工事 22件完了		50,711	100% (事業完了)	—	農政課
	産業基盤の再生	36	農業者向け経営再建支援	H28申請事業の完了件数425件、H29申請事業の完了件数97件となったが、資材不足や人手不足による工事の遅れが発生し、H29申請事業の繰越43件が発生したうえ、H28申請事業についても、繰越56件が発生した。	H28申請事業の繰越件数56件の内39件が完了。H29申請事業の繰越件数43件の内31件が完了。残りの事業についても申請者へのヒアリングを行い進捗状況の確認と進捗管理を依頼。	2,046,286	70% (予定どおり)	(担当課コメント) ・資材不足による工事の遅れが発生しているものの、予定どおり進んでいる。 ・申請者及び施工業者へのヒアリングや情報共有を強化し、事業完了に向けて進捗状況の管理を行っている。	農政課
		37	林道の災害復旧工事	国庫補助工事 5件(6箇所)完了	林道瀬田裏線災害復旧工事をH30.5月末(工期:~H31.2月末)に発注済み。 県土木部砂防ダム工事の影響で工期延期繰越予定(梅雨前には完了予定)	11,643	10% (遅れている)	【外的要因】 ・本年度発注原因となった県土木部発注の砂防ダム工事の進捗が予定より大幅に遅れているため、災害復旧工事の進捗への影響が懸念される。県の砂防ダムが12月完了。	農政課
		38	中小企業者等の経営再建支援	平成28年度~平成29年度のグループ補助金申請に伴う罹災証明の発行は105件行った。	各種申請の提出は終了している状況で、業務未完了の事業者については、工事中もしくは完了報告作成中の状況である。	0	90% (予定どおり)	(担当課コメント) ・事業完了が3月中旬と期限があるため、進捗状況を確認しながら、事業を進める必要がある。	商業観光課
		39	企業誘致の継続	立地協定目標件数:2件/年度 立地協定:2件/年度(平成28年度) 立地協定:9件/年度(平成29年度)	立地協定目標件数:2件/年度 立地協定:5件(平成30年4月~12月)	3,196	100% (予定どおり)	(担当課コメント) ・土地や建物の問い合わせについては、民地の紹介を行っているが、紹介できる物件が少ない。 ・新設や増設など問い合わせが増えている。	企業誘致課
		40	地域農産物のブランド化【地方創生の取り組み】	H28年度には関西方面でのカライモのテストマーケティングや、台湾高雄市百貨店催事での特産品販売を実施。また、H29年度には町のふるさと納税制度を更新し、町の特産物のPR・販路拡大に取り組む。	ふるさと納税制度にて町特産物のPRや販路拡大に取り組む。12月末時点でH30年度の寄附件数は前年度を上回ることができた。	0	80% (予定どおり)	(担当課コメント) ・平成28年度に台湾への販路拡大を検討・試行するも検疫の厳しさや輸送コストの高さなどにより費用対効果の面で厳しい状況。海外への可能性については引き続き検討。 ・ふるさと納税制度についても引き続き拡大を目指す。	総務課 総合政策課

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	平成30年4月～12月の実績	累計歳出額(千円)	進捗率(進捗状況)	進捗が遅れている理由(外的要因、内的要因)または担当課のコメント(課題等)	担当課
		41	若い世代の雇用確保	菊池地域企業誘致推進プロジェクト協議会及び大津町企業連と連携を取りながら雇用確保のため、次の事業を開催。 平成28年度:企業と学校との情報交換会(企業連) 平成29年度:おしごと発見フェア(協議会) 企業と学校との情報交換会(企業連)	菊池地域企業誘致推進プロジェクト協議会と連携を取りながら雇用確保のため、6月に「おしごと発見フェア」を開催。	700	100% (予定どおり)	(担当課コメント) ・企業からの求人も増えており、雇用の確保につながっている。	企業誘致課
	4 交流・地域拠点の形成	42	肥後大津駅の愛称化に伴う駅南口の活性化	県の「大空港構想」と連携し、駅の愛称化(阿蘇くまもと空港駅)と関連イベント等を実施した。また、地方創生推進交付金を活用した肥後大津駅周辺地域活性化事業に着手。29年度には地元商店などが中心となった活性化実行委員会を発足させ、住民ワークショップ等による実行計画書の策定などに取り組んだ。	地方創生推進交付金を活用した肥後大津駅周辺地域活性化事業に参画し、高校生のワークショップやイルミネーション設置の実施、ハード等整備の計画実行に取り組んだ。	0	80% (予定どおり)	(担当課コメント) ・肥後大津駅周辺地域活性化事業実行委員会が策定した計画に基づき、桜の植樹や空港ライナーPRの事業実施にあたっては、行政と実行委員会が協働で取り組むことが重要である。	商業観光課 総務課 総合政策課
		43	肥後大津駅を核とした賑わいの創出	肥後大津駅周辺地域活性化実行委員会が中心となり、駅周辺の活性化についての計画づくりを行った。また、歴史文化を活かした取組みを目指す駅北側については、上井手公園に水車を設置した。	肥後大津駅周辺地域活性化実行委員会が中心となり、策定した計画に基づき、本年度の事業実施を行う。12月には駅南口でのイルミネーション設置が行われた。また、10月には駅北側で商店街結成された。	0	80% (予定どおり)	(担当課コメント) 駅南のふれあい散歩道商店会など実行委員会のメンバーとの連携と、10月に結成の駅北口の肥後大津にっこり会の今後の活動内容を把握し、駅周辺の展開を検討する必要がある。	商業観光課 総務課 総合政策課
③ 命を守る・災害に強いまちづくり	1 災害対応の基盤づくり	44	役場庁舎の再建	平成28年度に基本構想・基本計画業務委託締結後、定期的に議会・外部・内部の検討委員会を開催し、平成29年12月に基本計画まで策定。 その後、プロポーザルを経て、平成29年12月に基本設計・実施設計業務委託を締結。平成30年12月末を目標に実施設計の策定を目指す。	基本設計の策定に向け、各委員会を開催。 ・外部検討委員会4回開催 ・議会特別委員会6回開催 ・庁内検討委員会10回開催 電算関係、防災関係、窓口関係、入札関係など詳細な打合せを実施。 事務局にて、先進地事例(武雄市・天草市)を視察研修。 実施設計の完了	261	30% (予定どおり)	(担当課コメント) ・竣工までの事業期間が短いため、設計・工事までの工程管理が課題。 ・外部・内部調整が課題 ・設計段階でのコストの見直しが課題 ・新庁舎建設工事の調達方針等について、再公告を実施したため、スケジュールが厳しくなっている。	庁舎建設推進課
		45	防災拠点の整備	南部地区の避難所をどこにするのかの検討を進めた。	5月に県立3校と避難所の利用協定を締結した。南部の避難所については、町全体の避難計画とあわせ検討していく必要がある。	0	50% (遅れている)	【内的要因】 ・南部地区の避難所をどこに整備するか検討を進める必要がある。	総務課
		46	消防団詰所の復旧工事	20件程の修理や立替の要望があるが、まだ12件の完了となっている。	8件の要望があり3件が申請しそのうち1件が終了。5件が確認申請や見積を徴収している状況。	38,356	70% (遅れている)	【外的要因】 ・早急な整備が必要だが、建替えの用地の選定や確認申請の許可関係で思うように進んでいない。	総務課
		47	防災倉庫の整備	中部地区は工事が完了した。南部地区においては、現在工事中である。北部地区については、場所の検討が必要である。	南部地区の防災倉庫が6月末に完成。	116,374	80% (予定どおり)	(担当課コメント) ・計画的な整備が必要。 ・南部は予定どおり進行中。	総務課
		48	物資の備蓄	避難所の整備と併せて備蓄計画の作成検討を行っている。ナフコと災害協定の締結に向けて協議中。	4月16日にナフコ、6月25日にJAと災害時における物資供給に関する協定を締結。	6	80% (予定どおり)	(担当課コメント) ・避難所の整備と合わせた備蓄計画を策定すること。	総務課
		2 教訓を活かした	49	震災の記録と対応の検証作業	区長、住民を実施し職員アンケートとあわせ、職員ヒアリングを行った。	5月末に住民ワークショップを開催し、6月末に完成。	4,536	100% (事業完了)	—
	50	発災初期の連携体制づくり	避難所運営マニュアルを策定していたが、防災計画の見直しと併せ継続して実施していく。	防災会議を開催し、本年度の地域防災計画を策定。それに基づき、避難所運営マニュアルやBCP策定に向け検討。	0	80% (予定どおり)	(担当課コメント) ・マニュアルに基づいた訓練の実施。 ・実際の災害時に対応できるのかシミュレーションを行う必要あり。	総務課	

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	平成30年4月～12月の実績	累計歳出額 (千円)	進捗率 (進捗状況)	進捗が遅れている理由(外的要因、内的要因) または担当課のコメント(課題等)	担当課
	発災時の対応づくり	51	災害情報の伝達	デンソーの情報システムの実証実験を通じ、利用者のアンケート調査を実施した。	防災無線の聴き取りが困難な地区に対応する対策の検討。	0	60% (遅れている)	【内的要因】 ・防災無線について、「聞こえすぎる」、「聞こえにくい」という双方の意見があるため、運用方法を検討する必要あり。 (担当課コメント) ・積極的に災害情報を見ていただくよう、住民への意識づけを行う必要あり	総務課
		52	共助による震災対応の町づくり	災害時避難行動要支援者名簿の更新を行い、関係支援機関(行政区嘱託員・民生委員・警察・消防等)にも要援護者リストを配布し、支援体制構築のための取組みを実施した。	災害時避難行動要支援者名簿の随時更新の実施。 災害時避難行動要支援者名簿について、広報(7月号)に登載し住民周知を図った。 中島区をモデル地区とし、地域版の避難計画の中で、要支援者の避難支援についての検討を開始した。 ※H30年度「地域版避難計画策定のための座談会」実施地区予定箇所(2箇所):1箇所実施済(進捗50%)《再掲》	0	50% (遅れている)	【外的要因】 ・地区の選定が決定していない (担当課コメント) ・各地域において、要援護者リストの活用方法へのフォローが課題(平時・緊急時) ・各地域において、要援護者リストの活用方法や個別支援計画書の充実を図る必要がある。	福祉課